

## コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-2)

孔名:H27-B

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-2)

孔名 H27-B-2		コア観察カード		透かすべき記事内容		第四系コア観察カード		基盤岩コア観察カード		透かす		記述作業における特記事項	
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	(変更箇所を示す色番号) (変更していないものは「-」で表示)	地質名	土質の特徴	地質名	地質の特徴	地質名	地質の特徴	内部構造	内部構造
上端深度	下端深度	コア観察カードから正しく記述されているか?	上端深度	下端深度	追加変更した記述が正しく記述されているか?	地質名	土質の特徴	地質名	地質の特徴	地質名	地質の特徴	内部構造	内部構造
-	-	☑	-	-	☑	白雲 ・薄雲や細かい瓦礫な どを多量に記載	松葉 ・松葉成層 ・後成層 ・後成層、後化 ・後成層など	地質名	地質の特徴	地質名	地質の特徴	内部構造	内部構造
487 133.75	133.92	硬鉄帯(せんじん断面)133.75m)	133.75	133.92	硬鉄帯(新活動面)133.75m)								
488 133.75	133.75	Hc-1 45°以下で直線的に連続。右英性や岩片を 含む明礫灰(10G-1), 厚さ0.5~1m/m	133.75	133.75	Hc-1 45°以下で直線的に連続。右英性や岩片を 含む明礫灰(10G-1), 厚さ0.5~1m/m								
489 133.75	133.80	Hc-1 45°以下で直線的に連続。右英性や岩片を 含む明礫灰(10G-1), 厚さ0.5~1m/m	133.75	133.80	Hc-1 45°以下で直線的に連続。右英性や岩片を 含む明礫灰(10G-1), 厚さ0.5~1m/m								
490 133.80	133.92	Hc-1 45°以下で直線的に連続。右英性や岩片を 含む明礫灰(10G-1), 厚さ0.5~1m/m	133.80	133.92	Hc-1 45°以下で直線的に連続。右英性や岩片を 含む明礫灰(10G-1), 厚さ0.5~1m/m								
491 133.75	133.92	[岩級区分層]D	133.75	133.92	[岩級区分層]CL								
492 133.92	134.15	硬KJ主体	133.92	134.15	硬KJ主体								
493 134.15	134.23	硬鉄帯(せんじん断面)134.15m)	134.15	134.23	硬鉄帯(新活動面)134.15m~134.19m)の可能性が ある								
494 134.15	134.19	Hc-1 45°以下で直線的に連続。右英性 岩片は 0.5mm未満の細い白色岩片と厚さ0.5mm 以下の岩片が混在する。その他の岩片には 0.5mm以上の中粒岩片と0.5mm未満の岩片 が混在する。岩片の厚さは0.5mm未満の岩片 が主である。厚さ0.5~1m/m	134.15	134.19	Hc-1 45°以下で直線的に連続。右英性 岩片は 0.5mm未満の細い白色岩片と厚さ0.5mm 以下の岩片が混在する。その他の岩片には 0.5mm以上の中粒岩片と0.5mm未満の岩片 が混在する。岩片の厚さは0.5mm未満の岩片 が主である。厚さ0.5~1m/m								
495 134.19	134.23	Hc-1 45°以下で直線的に連続。右英性 岩片は 0.5mm未満の細い白色岩片と厚さ0.5mm 以下の岩片が混在する。その他の岩片には 0.5mm以上の中粒岩片と0.5mm未満の岩片 が混在する。岩片の厚さは0.5mm未満の岩片 が主である。厚さ0.5~1m/m以上。	134.19	134.23	Hc-1 45°以下で直線的に連続。右英性 岩片は 0.5mm未満の細い白色岩片と厚さ0.5mm 以下の岩片が混在する。その他の岩片には 0.5mm以上の中粒岩片と0.5mm未満の岩片 が混在する。岩片の厚さは0.5mm未満の岩片 が主である。厚さ0.5~1m/m以上。								
496 134.15	134.23	[岩級区分層]D	134.15	134.23	[岩級区分層]CL								
497 134.23	134.65	[変質帶]Dランク	134.23	134.65	[変質帶]Dランク								
498 134.23	134.77	GL ・アブリトテラ・強侵入侵襲带下部で 弱れることは多いが伴わない。	134.23	134.77	GL ・アブリトテラ・強侵入侵襲带下部である。 弱れることは多いが伴わない。			なし					
499 134.23	134.33	DとKが混在する岩質を呈する。岩質は 灰色。	134.23	134.33	AとKが混在する岩質を呈する。岩質は 灰色。			なし					
500 134.77	135.34	砂状～約10m-m細粒岩片状地盤	134.77	135.34	D ・砂状～約10m-m細粒岩片状地盤			なし					
501 135.34	145.65	Qc ・建物に影響された地盤	133.34	145.65	Qc ・建物に影響された地盤			なし					
502 136.40	-	136.40mまで2~3m/mの埋没岩色 絆合岩 点が存在する。	136.40	-	136.40mまで2~3m/mの埋没岩色 絆合岩 点が存在する。			なし					
503 136.54	136.54	135°傾き15mアブリトテラ5m後で静け ざれ点、周辺岩質も含め地盤は伴わない。	136.54	136.54	135°傾き15mアブリトテラ5m後で静け ざれ点、周辺岩質も含め地盤は伴ない。			なし					
504 137.44	137.53	0.5~10m/m締密状の細粒主張・透視的岩形は 静けざれ。	137.44	137.53	0.5~10m/m締密状の細粒主張・透視的岩形は 静けざれ。			なし					
505 137.53	137.60	疎つ状剖面も含む。	137.53	137.60	疎つ状剖面も含む。			なし					
506 137.68	137.68	色調が変化。	-	-	色調が変化。			なし					
507 -	137.68	137.68m以降は暗赤色を呈する。これはカリ石が多 いもの。	-	-	137.68m以降は暗赤色を呈する。これはカリ石が多 いもの。			なし					
508 137.68	-	137.68m以降は暗赤色を呈する。 多く含まれたため。	-	-	137.68m以降は暗赤色を呈する。 多く含まれたため。			なし					
509 -	-	-	137.82	137.97	灰白色を呈する。砂一細粒状を呈する。 サンドストーン。			なし					
510 138.00	138.30	斜め自立の砂岩層。厚さ2~3m/mの灰白色粘 土を含む。	138.00	138.30	斜め自立の砂岩層。厚さ2~3m/mの灰白色粘 土を含む。			なし					
511 -	-	-	138.40	138.20	アブリト 上に強烈な目立つ岩形と構成する。			なし					
512 138.40	139.20	地質名? Ap	138.40	139.20	地質名? Ap			なし					
513 138.75	138.75	60°傾き15mアブリトテラ5m後で静け ざれ点、周辺岩質も含め地盤は伴ない。	138.75	138.75	60°傾き15mアブリトテラ5m後で静け ざれ点、周辺岩質も含め地盤は伴ない。			なし					

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-2)

孔名 H27-B-2			コア観察カード			適正化すべき記事内容			第四系コア観察カード			基盤岩コア観察カード			結果等			記事に削除・変更・追記の理由		
上端深度	下端深度	コア観察カードから直しく記述されているか?	上端深度	下端深度		(変更が直しく記述されているか?) (変更していないものは「-」記入)			地質名	色調	土質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的
		☑				直しく記述している。	☑		地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的
514 139.67	139.67	75' 割れ目の一部が厚35mm程度砂化。	139.67	139.67				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
515 139.67	140.04	30' 割れ目直ぐ下層は厚3mm程度砂化。6.5cm程度 砂化→縫合部にかけている。乾燥した感じなどはない。	139.67	140.04				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
516 140.04	145.63	厚31mm程度とする砂層を含む剖面は直ぐないが 砂層→砂層と剖面は直ぐないが、厚さ3mm程度 砂層は直ぐ砂層のままである。直ぐ砂層化する 傾向がある。	140.04	145.63				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
517 141.10	141.18	40' 割れ目直ぐ砂化。5.5~10mm程度頁岩片(硬 膜)が多い。	141.10	141.18				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
518 -	-	-	141.35	141.96	上下端とも縫合部のため不明			地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
519 141.35	141.96	(地質名) Gp	141.35	141.96				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
520 141.96	142.23	長い直線状で厚さ7~8mm直ぐの直線状が複数 か交差し、5.5~10mm程度砂層化している。 層内舟舟舟と縫合部で一部割さ1~2mm程度 砂層は直ぐ砂層のままである。直ぐ砂層化 する傾向がある。	141.96	142.23				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
521 142.91	144.90	直線状の縫合部で直ぐに砂層化がある。	142.91	144.90				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
522 143.57	143.70	上端部→下端部 割れ目直ぐ砂化強く 砂化色を呈する。直ぐ10mm以下で砂層化 傾向はほとんどない。5.5~10mm以下で砂層 化傾向がある。厚さ10mm程度頁岩片に付 る。	143.57	143.70				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
523 145.65	148.26	0 厚が直ぐ目立つ。直ぐに砂化が入り、挟った砂岩 層の直ぐ下端部で直ぐ砂層化がある。	145.65	148.26				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
524 146.00	146.00	(風化)ランク (変質度)ランク (岩層区分)Gp	146.00	146.00				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
525 146.00	146.00	(コアの侵き幅)ランク	146.00	146.00				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
526 146.00	146.00	145.74~146.00mmは直ぐの直線状が複数 か交差し、5.5~10mm程度砂層化している。 層内舟舟舟と縫合部で一部割さ1~2mm程度 砂層は直ぐ砂層のままである。	146.00	146.00				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
527 146.00	146.91	測定と共に準備する剖面量が増加する	-	-				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
528 146.91	147.50	直ぐの直線状で直ぐ砂層化がある。	146.91	147.50				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
529 146.91	147.65	(コアの侵き幅)ランク	146.91	147.65				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
530 146.91	148.26	(岩級区分)Gp	146.91	148.26				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
531 147.00	147.65	(風化)ランク (変質度)ランク (岩層区分)Gp	147.00	147.65				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
532 -	-	上端部55'の直線状の割れ目の間は直ぐな状態を呈す る。	147.50	147.92				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
533 147.65	147.65	55' 割れ目に厚さ1~2mm程度灰白色緑泥石層 む。砂層へ直ぐな状態をしている。	147.65	147.65				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
534 147.65	148.01	直ぐの直線状で直ぐ砂層化が多いが直在物は 少ないので直ぐな状態。	-	-				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
535 148.26	149.19	GL 厚さ1~2mm程度灰白色緑泥石層直ぐ 砂層化がある。	148.26	149.19				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
536 148.68	148.68	50' 厚さ1~3mm程度灰白色緑泥石層直ぐ 砂層化がある。	148.68	148.68				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
537 148.68	148.84	148.64以上 割れ目直ぐに厚さ1~2mm程度化す る直ぐの直線状。	148.64	-				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
538 149.19	149.67	割れ目直ぐに直ぐ砂層化がある。厚さ1~2mm程度化する 直ぐの直線状で直ぐ砂層化がある。	149.19	149.67				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
539 149.19	149.67	(岩級区分)Gp	149.19	149.67				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
540 -	-	149.41 149.41	149.41	149.41				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
541 149.67	152.10	GL 厚さ1~2mm程度灰白色緑泥石層直ぐ 砂層化がある。	-	-				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
542 149.67	150.22	149.67 150.22	150.22	150.22				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
543 150.22	150.52	下端部55'の直線状の割れ目直ぐに直ぐ砂層化 している。	150.22	150.52				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
544 150.22	150.52	150.22 150.52	150.22	150.52				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
545 150.52	152.10	直ぐの直線状で直ぐ砂層化がある。	-	-				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
546 150.52	-	150.52 150.52	150.52	-				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	
547 151.40	151.60	剖面直ぐに直ぐ砂層化がある。	151.40	151.88				地質名	色調	地質の特徴	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	地質名	色調	地質及びその岩層深度を網約的	

## コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H27-B-2)

孔名:H27

○記載有り なし:該当区間に対象物はあるが、周囲の状況と同様であるため記載していないもの ー 該当区間に対象物がない

## いもの

余白

H24-B14-2

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

飛鳥 M24

○記載有り なし.該当区間に対象物はあるが、周囲の状況と同様であるため記載していないもの - 該当区間に対象物がないもの

## コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

孔名:H24-B14-2

○：記載有り なし：該当区間に対象物はあるが、周囲の状況と同様であるため記載していないもの

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

用名:H24-B1

○記載有りなし該当区間に対象物はあるが、周囲の状況と同様であるため記載していないもの

ヨア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

34-104-BM-6

<sup>14</sup> 本稿では、統計的推論のための統計量として、周囲の被験者と被験者の自己評定の平均値を用いる。

— 17 —

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

更多 M26x814

◎記載有り：――が、該当区間に対象物はあるが、周囲の状況上同様であるか否かを判断していけるもの。

四百四十九

ヨア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

刀劍 USA 2014

◎ 目錄 第一章 誰是所謂的社會學者？第二章 現代社會學研究方法論：批判與評述

八〇

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

116

◎ 記者著者：第一校准项目对药物有抗性的，项目的检测上同样对药物有抗性的。

ヨア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

更多 U24

◎ 目錄索引 · 114 · 第二章 國際化對象化之關係：兩國的對外經濟政策之企圖與實踐 · 114 · 第二章 國際化對象化之關係：兩國的對外經濟政策之企圖與實踐

四

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)																		
凡名 H24-B14-2																		
コア観察カード		適正化すべき記事内容				第四系コア観察カード									基盤部コア観察カード			
記事	記事	上地深度	下地深度	上地深度	下地深度	地質	土質の特徴	土質の特徴	地質作業における特徴を挙げよ	地質作業における特徴を挙げよ	地質作業における特徴を挙げよ	地質作業における特徴を挙げよ	地質作業における特徴を挙げよ	地質作業における特徴を挙げよ	地質部	地質部	地質部	地質部
上地深度 下地深度	コア観察カードから正しく記述されているか?	上地深度	下地深度	地質を 追加更に記述 が正しく記述されているか?	下地深度	地質を 追加更に記述 が正しく記述されているか?	地質部	地質部	地質部	地質部								
267 63.09 63.47	(コアの形状) Vランク	63.09	63.47	(コアの形状) Vランク											基盤部	基盤部	基盤部	基盤部
268 63.09 65.32	【耐れ目状態】ランク	63.09	65.32	【耐れ目状態】ランク											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
269 63.47 64.15	上位と比べて柔軟な岩盤(中～硬)。ゴマ油 状態を呈する。斜め自立に縦断面が変形され る。ゴマ油状態である。	63.47	64.15	上位と比べて柔軟な岩盤(中～硬)。ゴマ油 状態を呈する。斜め自立に縦断面が変形され る。ゴマ油状態である。											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
270 64.15 64.59	(岩盤区分) CL	64.15	64.59	(岩盤区分) CM											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
271 64.15 64.82	∠40~50° の斜面付近で1cm程度の剥離によ る。ごく薄い皮膜で覆われた岩盤は剥離して 飛散する。表面斜面自立に部分的に崩落。コ アはソーナー打撃でやわらかい音を発する。	-	-	-											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
272 64.26 64.51	上下位と比べて柔軟性が高まる。上斜め45°、下 斜め45°程度で崩壊する。	-	-	-											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
273 64.59 64.82	(コアの形状) Vランク	64.59	64.82	(コアの形状) Vランク											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
274 64.82 65.32	∠30~45°および∠70° の斜面が∠1~3cm程度 で剥離し、ゴマ油状態で剥離を呈する。しば しば内側に剥離した岩盤は自立して直角に 垂直となる。	64.82	65.32	∠30~45°および∠70° の斜面が∠1~3cm程度 で剥離し、ゴマ油状態で剥離を呈する。しば しば内側に剥離した岩盤は自立して直角に 垂直となる。											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
275 65.32 65.32	フィルム状～巾5mm、∠45° 反白砂漠じり粘 土。	65.32	65.32	フィルム状～巾5mm、∠45° 反白砂漠じり粘 土。											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
276 65.32 65.42	【耐れ目状態】ランク (コアの形状) Vランク (岩盤区分) CL	65.32	65.42	【耐れ目状態】ランク (コアの形状) Vランク (岩盤区分) CL											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
277 65.32 65.60	上下位と比べて柔軟性が高まる。コアは剥離す ると柔軟性が高くなる。剥離した岩盤は剥離 方向に沿って柔軟性がある。X 軸を基準に剥離 方向が変化している。	-	-	-											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
278 65.67 65.86	コアが若干まで変形する。底面は白色 を呈する(2.5kg付近)。	-	-	-											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
279 65.85 65.85	巾1mm、∠34°、反白砂漠じり粘土、マンガン濃度を 持つ。	65.85	65.85	巾1mm、∠34°、反白砂漠じり粘土、マンガン濃度を 持つ。											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
280 65.86 66.06	不確実に剥離するが強度は、ハンマーの打撃で 分離しない。	-	-	-											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
281 66.06 67.00	(コアの形状) Vランク	66.06	67.00	(コアの形状) Vランク											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
282 66.06 67.38	∠30~45° の剥離が∠1~3cm程度で剥離を呈す る。それを支えるように∠45° 以上は 高角度で剥離される。	66.06	67.38	∠30~45° の剥離が∠1~3cm程度で剥離を呈す る。それを支えるように∠45° 以上は 高角度で剥離される。											・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状	・岩石の形状
283 66.06 66.43	(耐れ目状態) ランク	66.06	66.43	(耐れ目状態) ランク											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
284 66.06 67.00	(RQD) ランク 22	66.06	67.00	(RQD) ランク 10											・RQDが10と22との間にあり、RQDが見られた時にRQDに はほぼ上位にないことに、最もコア長さ(6cmのみ)がRQDの面に変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
285 66.06 67.38	∠30~45° の剥離が∠1~3cm程度で剥離を呈す る。それを支えるように∠45° 以上は 高角度で剥離される。	66.06	67.38	∠30~45° の剥離が∠1~3cm程度で剥離を呈す る。それを支えるように∠45° 以上は 高角度で剥離される。											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
286 66.06 66.81	∠30~45° の剥離が∠1~3cm程度で剥離を呈す る。内部剥離の場合は(直角) 以上は直角に 剥離している。斜め自立、耐れ目状態のまんべんなく剥離が認められる。	66.06	66.81	∠30~45° の剥離が∠1~3cm程度で剥離を呈す る。内部剥離の場合は(直角) 以上は直角に 剥離している。斜め自立、耐れ目状態のまんべんなく剥離が認められる。											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
287 66.85 66.23	(岩盤区分) CL	66.85	66.23	(岩盤区分) CM											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
288 66.85 67.38	(耐れ目状態) ランク	66.85	67.38	(耐れ目状態) ランク											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
289 66.86 66.86	∠45° の剥離が∠1~3mm(岩盤) 岩質劣化する。 ○	66.86	66.86	∠45° の剥離が∠1~3mm(岩盤) 岩質劣化する。 ○											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
290 66.90 66.90	巾1mm、∠45° 、淡黄褐色泥じり粘土挟在。	66.90	66.90	巾1mm、∠45° 、淡黄褐色泥じり粘土挟在。											・地盤の影響を受けている箇所が不明確であるRQDに は上位と比べて地盤の影響が大きい。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
291 67.38 67.51	南北に大きな岩塊で構成される。コアは直角では なく、上位は直角、下位は∠45° で剥離される。 これらは上位と比べて地盤の影響が受けている。	67.38	67.51	南北に大きな岩塊で構成される。コアは直角では なく、上位は直角、下位は∠45° で剥離される。 これらは上位と比べて地盤の影響が受けている。											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
292 67.38 67.51	(耐れ目状態) ランク	67.38	67.51	(耐れ目状態) ランク											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
293 67.51 68.23	∠30~45° の剥離が∠1~3cm程度で剥離を呈す る。内部剥離の場合は(直角) 以上は直角に 剥離している。斜め自立、耐れ目状態のまんべんなく剥離が認められる。	67.51	68.23	∠30~45° の剥離が∠1~3cm程度で剥離を呈す る。内部剥離の場合は(直角) 以上は直角に 剥離している。斜め自立、耐れ目状態のまんべんなく剥離が認められる。											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
294 67.51 68.23	(岩盤) ランク	67.51	68.23	(岩盤) ランク											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
295 68.03 68.03	南北に大きな岩塊で構成される。コアは直角では なく、上位は直角、下位は∠45° で剥離される。 これらは上位と比べて地盤の影響が受けている。	68.03	68.03	南北に大きな岩塊で構成される。コアは直角では なく、上位は直角、下位は∠45° で剥離される。 これらは上位と比べて地盤の影響が受けている。											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
296 68.23 68.33	網状に裂けた土を示す(網状)。下地強度は不 明瞭である。耐れ目状態のまんべんなく剥離が 認められる。	68.23	68.33	網状に裂けた土を示す(網状)。下地強度は不 明瞭である。耐れ目状態のまんべんなく剥離が 認められる。											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
297 68.23 68.41	(耐れ目状態) ランク	68.23	68.41	(耐れ目状態) ランク											・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。	・耐れ目状態のランクの変更に伴い、岩盤を変更した。
298 68.41 68.63	(コアの硬さ) ランク	68.41	68.63	(コアの硬さ) ランク											・コアは複数個であるためコアのランクを変更した。	・コアは複数個であるためコアのランクを変更した。	・コアは複数個であるためコアのランクを変更した。	・コアは複数個であるためコアのランクを変更した。
299 68.42 68.63	土砂～角礫状を呈する(角礫)。	68.42	68.63	土砂～角礫状を呈する(角礫)。マンガン層で層 化しているが、層内に角礫が見られない。											・マンガン層については層化による状況であると指摘した。	・層内に角礫が見られないことについて指摘した。	・層内に角礫が見られないことについて指摘した。	・層内に角礫が見られないことについて指摘した。

記事を削除・変更・追記した理由

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

四百 103

◎ 俗文化研究 · 314 · 第六輯 俗文化研究：從民間文學到民間文化

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-?)

Page 104 DIA

<sup>②</sup> 見前註引。——註：該當原題之對象物之名，於原題之對象物之名之後，加註該當原題之對象物之名。

四百零

ヨア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

五名 H24-B14-

◎記載者見：在日陸海軍間に対象物はあるが、周囲の状況上問題があるため記載していないものは、該当する項目に記載しない。

45

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

四百一十五

三、監察報告書——報告會性狀圖品

79

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

更多 - M24-3

○記載有り なし 指定区間に対象物はあるが、周囲の状況と同様であるため記載していないもの

1

ヨア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

孔名:H24-B14

◎ 資料來源：一九八二年第三次全國經濟普查資料卷之六，零售業統計上圖表各項指標，頁三三三。

四〇四

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

五名 H24-1

○ 記載有り　　なし：該当区間に対象物はあるが、図面の状況と同様であるため記載していないもの　　□：該当区間に対象物がないもの

11

## コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

五名·H5

2種有り なし 隣接区間に対象物はあるが、周囲の状況と関係であるため記載していない土の  
=隣接区間に対象物がない土の

四

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

习题 H24-R14-7

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-B14-2)

孔名 H24

○起動有り　なし　該当区間に対象物はあるが、周囲の状況と同様であるため起動していない。　- 該当区間に対象物がない。

当的物品等，二三三（THE THREE ETC.

H24-D1-3

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-3)											
孔名: H24-D1-3			○記載有り なし			柱状図に記載があるが、周辺の状況と同様であるため記載していないもの			柱状図に記載がないもの		
コア観察カード			適正化すべき記事内容			第四系コア観察カード			基盤岩コア観察カード		
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記号	地質名	地質名	地質名	地質名	地質名	地質名
		コア観察カードから正しい記載されているか?			☑	[地質名] (変更してある場合は書き直す) [変更していないものは「-」で表す]					
1.0	3.57	砂質粘土	0.00	9.84							
2.00	0.18	層	0.00	9.18							
3.00	0.18	變遷带岩	0.18	9.18							
4.00	0.18	3.57	0.18	9.18							
5.00	0.18	中砂	0.18	9.18							
6.00	0.18	砂質粘土	0.18	9.18							
7.00	0.18	4.49	0.18	9.18							
8.00	0.18	變遷带岩	0.18	9.18							
9.00	0.18	4.49	0.18	9.18							
10.00	0.18	4.49	0.18	9.18							
11.00	0.18	4.49	0.18	9.18							
12.00	0.18	5.10	0.18	9.18							
13.00	0.18	5.10	0.18	9.18							
14.00	0.18	5.10	0.18	9.18							
15.00	0.18	5.30	0.18	9.18							
16.00	0.18	5.70	0.18	9.18							
17.00	0.18	6.00	0.18	9.18							
18.00	0.18	6.00	0.18	9.18							
19.00	0.18	6.25	0.18	9.18							
20.00	0.18	6.49	0.18	9.18							
21.00	0.18	6.49	0.18	9.18							
22.00	0.18	7.00	0.18	9.18							
23.00	0.18	7.40	0.18	9.18							
24.00	0.18	7.40	0.18	9.18							
25.00	0.18	7.40	0.18	9.18							
26.00	0.18	7.75	0.18	9.18							
27.00	0.18	7.75	0.18	9.18							
28.00	0.18	-	8.38	9.18							
29.00	0.18	8.38	8.60	9.18							
30.00	0.18	8.38	8.60	9.18							
31.00	0.18	8.60	9.00	9.18							
32.00	0.18	9.00	9.18	9.18							
33.00	0.18	9.00	9.64	9.18							
34.00	0.18	9.00	9.64	9.18							
35.00	0.18	9.35	9.35	9.18							

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-3)

コア観察カード			適正化すべき記載内容			第四系コア観察カード			基盤岩コア観察カード			地示帶			記述				
孔名	上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	地質名	色調	特徴	地質名	色調	特徴	地質名	色調	特徴	地質名	色調	特徴		
			(変更してあるべきもの) (変更していないものは□で記載)																
			なし 記述区間に対象物はあるが、箇欄の状況と同様であるため記載していないもの			— 該当箇欄に対象物がないもの													
上端深度	下端深度	コア観察カードから直しく記述されているか?	上端深度 下端深度 直しく記述されているか? <input checked="" type="checkbox"/>	上端深度 下端深度 直しく記述されているか? <input checked="" type="checkbox"/>															
36 9.66	9.84	モルタル 砂利を含む鉄骨モルタル、基礎部と5°で傾している。	9.75	9.84	モルタル 砂利を含む鉄骨モルタル、基礎部と5°で傾している。	○	-	-											・コアに合わせて上端深度を変更した。
37 9.66	9.84	花崗岩モルタル層(土) 色調番号:5071H-1 オーブ灰	9.75	9.84	花崗岩モルタル層(土) 色調番号:5071H-1 オーブ灰	-	-	-										・記事欄の変更に合わせて上端深度を変更した ・人工堆積物の表記を追記した	
38 9.84	9.84	花崗岩	-	-	花崗岩	-	-	-										・地質名及び地示帶を追記した ・地質名を追記した	
39 -	-	0.1~3mm石英、0.1~7mm長石斑晶からなる花崗岩 混入	8.84	60.00	0.1~3mm石英、0.1~7mm長石斑晶からなる花崗岩 混入	-	-	-										・地質名及び地示帶を追記した ・地質名を追記した	
40 9.84	10.77	花崗岩 花崗岩は、斜面はやや直角で、底面は風化している。0.1mm位ほどの大型の長石斑晶を多く含む。また花崗岩粒は花崗岩母岩より大きい。薄いシルバーフィラメントが斜面に多く見られる。	9.84	10.77	花崗岩 花崗岩は、斜面はやや直角で、底面は風化している。0.1mm位ほどの大型の長石斑晶を多く含む。また花崗岩粒は花崗岩母岩より大きい。薄いシルバーフィラメントが斜面に多く見られる。	-	-	-									・地質名及び地示帶を追記した ・地質名を追記した		
41 10.47	10.50	スライム	10.47	10.50	スライム 滑面の砂質シルトからなる。	-	-	-										・スライムの構成物を追記した	
42 10.47	10.50	(地質名:Ge 色調番号:5071H-1 オーブ灰 (コアの表記:ラブック (コアの記述:ラブック (表記番号:ラブック 色調番号:ラブック)	10.47	10.50	(地質名:Ge 色調番号:5071H-1 オーブ灰 (コアの表記:ラブック (コアの記述:ラブック (表記番号:ラブック 色調番号:ラブック)	-	-	-									・コアと区別であらため地質名(Ge)を追記した ・その他の欄は削除した		
43 10.77	12.00	花崗岩 花崗岩は、底面は直角であるが、斜面はやや直角で、底面は風化している。0.1mm位ほどの大型の長石斑晶を多く含む。また花崗岩粒は花崗岩母岩より大きい。薄いシルバーフィラメントが斜面に多く見られる。	10.77	12.00	花崗岩 花崗岩は、底面は直角であるが、斜面はやや直角で、底面は風化している。0.1mm位ほどの大型の長石斑晶を多く含む。また花崗岩粒は花崗岩母岩より大きい。薄いシルバーフィラメントが斜面に多く見られる。	-	-	-									・西側の適正化(軟化化、原岩組織、系-系統、受け、挿入)		
44 11.30	11.90	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。また、斜面は風化している。斜面は直角で、底面はやや直角である。斜面は風化している。また、斜面は風化している。	11.90	11.90	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。また、斜面は風化している。斜面は直角で、底面はやや直角である。	-	-	-									・コアに合わせて地質を変更した ・表記の変更に合わせた		
45 12.00	12.13	スライム	12.00	12.13	スライム シルトからなる。	-	-	-										・スライムの構成物を追記した	
46 12.00	12.13	(地質名:Ge 色調番号:スライム (地示帶区分:Ⅰ)	12.00	12.13	(地質名:Ge 色調番号:スライム (地示帶区分:Ⅰ)	-	-	-									・記事欄に合わせて変更した		
47 12.13	13.03	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。また、斜面は風化している。斜面は直角で、底面はやや直角である。斜面は風化している。また、斜面は風化している。	12.13	13.03	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。また、斜面は風化している。斜面は直角で、底面はやや直角である。斜面は風化している。また、斜面は風化している。	-	-	-									・コアに合わせて地質を変更した ・表記の適正化(軟化化、原岩組織、系-系統、受け、挿入)		
48 12.57	12.61	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。また、斜面は風化している。斜面は直角で、底面はやや直角である。斜面は風化している。また、斜面は風化している。	12.57	12.61	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。また、斜面は風化している。斜面は直角で、底面はやや直角である。斜面は風化している。また、斜面は風化している。	-	-	-									・コアに合わせて色調を変更した ・表記の変更に合わせた		
49 13.03	13.32	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。	13.03	13.32	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。	-	-	-									・スライムの構成物を追記した		
50 13.32	13.47	風化で砂化している。	-	-	-	-	-	-									・記事欄に合わせて変更した		
51 13.47	13.94	50°斜面が平行で複数分岐する。岩には斑状构造がある。斜面は直角で、底面はやや直角で、底面は風化していない。 といずれも花崗岩である。斜面は風化している。	13.47	13.94	50°斜面が平行で複数分岐する。岩には斑状构造がある。斜面は直角で、底面はやや直角で、底面は風化していない。 といずれも花崗岩である。斜面は風化している。	-	-	-									・表記の適正化(や、軟化化、受け)		
52 13.94	14.06	砂岩帯(H-1の地示帶)	13.94	14.06	砂岩帯(H-1の地示帶)	-	-	-									・用語の統一(地質帶-1級地質帶)		
53 13.94	13.98	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。	13.94	13.98	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。	-	-	-									・地質名を削除した。岩質からなる地示帶について記述した		
54 13.98	14.00	Hc-1 上段は直角で、下端は5°で、岩面も直角的でシーパーに連続。0.1mm位ほどの長石斑晶を含む。底面は直角で、底面はやや直角で、底面は風化していない。	13.98	14.00	Hc-1 上段は直角で、下端は5°で、岩面も直角的でシーパーに連続。0.1mm位ほどの長石斑晶を含む。底面は直角で、底面はやや直角で、底面は風化していない。	-	-	-								・岩質は斑状化が認められると同時に花崗岩と見られる。			
55 14.00	14.06	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。斜面は直角で、底面はやや直角で、底面は風化していない。	14.00	14.03	花崗岩 花崗岩は、斜面は直角であるが、底面はやや直角で、底面は風化している。斜面は直角で、底面はやや直角で、底面は風化していない。	-	-	-								・地示帶区分(地質帶内地質名)を記載した。地示帶区分を変更した ・コアに合わせて地示帶を変更した ・当該区間ではないが、岩質は直角的で削除した ・色調、岩質、地示帶の適正化(軟化化、受け)			
56 14.00	14.06	Hc-1 直角で複数分岐する。	14.03	14.06	Hc-1 直角で複数分岐する。	-	-	-									・直角で複数分岐する。岩質は直角的で複数分岐した。岩質は直角的で複数分岐した。		
57 14.00	14.06	(地示帶区分:Hc)	14.00	14.03	(地示帶区分:Hc)	-	-	-									・直角で複数分岐する。岩質は直角的で複数分岐した。		
58 14.00	14.06	(地示帶区分:Hc-1)	14.03	14.05	(地示帶区分:Hc-1)	-	-	-									・直角で複数分岐する。		
59 14.05	14.41	岩質は直角であるが、斜面は直角である。斜面は直角で、底面はやや直角で、底面は風化していない。	14.05	14.41	岩質は直角であるが、斜面は直角である。斜面は直角で、底面はやや直角で、底面は風化していない。	-	-	-								・岩質の適正化(軟化化、受け)			

### コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-3)

孔名

は況と同様であるため記載していないもの 一該当区間に対象物がな

## いもの

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-3)

孔名:H24-

○記載有り なし:該当区間に対象物はあるが、周囲の状況と同様であるため記載していないもの ー該当区間に対象物がないもの

[View all posts by admin](#) | [View all posts in category](#)

## コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-3)

孔名:H24-□

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-3)

更多:H2

○起算者なし：該当区間に対象物はあるが、周囲の状況と同様であるため起算していないもの

116

**コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-3)**

孔名 H24-D1-3		コア観察カード		適正化すべき記事内容		第四系コア観察カード		基盤岩コア観察カード										記事を削除・変更・追記した理由			
孔深	下端深度	記事	記述	上端深度	下端深度	地質名	色調	土質の特徴	固結構造	固結構造	地質名	色調	地質等の別名	破砕部区分	破砕部	破砕部区分	破砕部	内部構造	最新活動面	最新活動面	
上端深度	下端深度	コア観察カードから正しく記述されているか?	<input checked="" type="checkbox"/>	上端深度	下端深度	追加してある情報が正しく記述されているか?	<input checked="" type="checkbox"/>														
157	49.21	「25' 斧削れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目を切っている。斧削れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目を切っている。」	49.21	49.21	「25' 斧削れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目を切っている。斧削れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目を切っている。」															「49~50m付近の30'斧削れ目は直角で、2~3mm砂状化する40'斧削れ目は直角で、2~3mm砂状化する40'斧削れ目を切っている。」を変更し、更に直角の記述を削除した。 「削れ目及び直角の状況について追記した。 「上端の直角と下端の直角からせん断層剥離面ではないと判断して「せん断層」を削除した。 「直角の直角化」	
158	49.35	「直角で、一部を陥落、剥れ目は少なくない。直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目を切っている。」	-	-	「直角で、一部を陥落、剥れ目は少なくない。直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目を切っている。」																
159	49.35	「削れ目状態」～～～～～	49.35	49.35	「削れ目状態」～～～～～																「削れ目状態」～～～～～
160	49.71	「50' 剥れ目が1~2mm砂状化する以外には粘土も含めほとんどが直角である。」	49.71	49.71	「50' 剥れ目が1~2mm砂状化する以外には粘土も含めほとんどが直角である。」																「50'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」
161	49.81	「15' 剥れ目は直角で目立つ。直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目を切っている。直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目を切っている。」	49.81	49.81	「15' 剥れ目は直角で目立つ。直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目を切っている。直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目を切っている。」															「15'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」	
162	49.93	「50'-D' 斧削れ目。後退剥離面は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。剥れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。」	50.76	50.76	「50'-D' 斧削れ目。後退剥離面は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。剥れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。」															「50'-D'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」	
163	-	「50'-E' 斧削れ目は直角である。50'-F' 斧削れ目主体で、50.4m~51' 2~3mm砂状化する40' 斧削れ目は剥れ目のみである。」	50.69	50.67	「50'-E' 斧削れ目は直角である。50'-F' 斧削れ目主体で、50.4m~51' 2~3mm砂状化する40' 斧削れ目は剥れ目のみである。」															「50'-E'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」	
164	50.73	「50'-G' 斧削れ目主体で、50.4m~51' 2~3mm砂状化する40' 斧削れ目は剥れ目のみである。」	51.24	51.24	「50'-G' 斧削れ目主体で、50.4m~51' 2~3mm砂状化する40' 斧削れ目は剥れ目のみである。」															「50'-G'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」	
165	-	「50'-H' 斧削れ目主体である。」	50.87	50.87	「50'-H' 斧削れ目主体である。」																「50'-H'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。
166	51.24	「51'-A' 斧削れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。剥れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。」	52.13	52.13	「51'-A' 斧削れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。剥れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。」															「51'-A'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」	
167	51.74	「51'-B' 斧削れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。剥れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。」	51.74	51.74	「51'-B' 斧削れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。剥れ目は直角で、2~3mm砂状化する40' 斧削れ目で直角である。」															「51'-B'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」	
168	51.91	「51'-C' 斧削れ目主体である。」	52.13	52.13	「51'-C' 斧削れ目主体である。」																「51'-C'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」
169	52.13	「52'-A' 斧削れ目主体である。」	52.28	52.28	「52'-A' 斧削れ目主体である。」																「52'-A'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。
170	52.13	Hc-1 「52'-B' 斧削れ目主体である。」	52.13	52.13	Hc-1 「52'-B' 斧削れ目主体である。」																「52'-B'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」
171	52.13	「53'-A' 斧削れ目主体である。」	52.16	52.16	「53'-A' 斧削れ目主体である。」																「53'-A'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」
172	52.15	「54'-A' 斧削れ目主体である。」	52.28	52.28	「54'-A' 斧削れ目主体である。」																「54'-A'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」
173	52.28	「55'-A' 斧削れ目主体である。」	52.51	52.51	「55'-A' 斧削れ目主体である。」																「55'-A'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」
174	52.51	「56'-A' 斧削れ目主体である。」	52.51	52.51	「56'-A' 斧削れ目主体である。」																「56'-A'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」
175	52.51	「57'-A' 斧削れ目主体である。」	52.60	52.60	「57'-A' 斧削れ目主体である。」																「57'-A'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」
176	52.60	「58'-A' 斧削れ目主体である。」	52.85	52.85	「58'-A' 斧削れ目主体である。」																「58'-A'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」
177	52.72	「59'-A' 斧削れ目主体である。」	52.72	52.72	「59'-A' 斧削れ目主体である。」																「59'-A'剥れ目」の記述と直角の記述を削除した。 「直角の直角化」

### コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-3)

## コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-3)

○記載有り なし 該当区間に対象物はあるが、周囲の状況と同様であるため記載していないもの

- 該当区間に対象物がないもの

上端深度	下端深度	コア観察カード	直正化すべき記事内容		第四系コア観察カード										基盤岩コア観察カード									
			記事番号	(変更箇所を含む場合は表示) (変更していないものは「-」で表示)	地質名	色相 ・採取の色相 ・光沢感	土質の特徴 ・粒度分析、他の特徴と目次	含有物 ・有機物 ・無機物 ・その他の周囲と異なる状況や特徴的な 状況があれば、必要に応じて、説明、高 度化など	特殊構造 ・塊状、塊理、結晶化など	断面名 ・地層の特徴及びその成因を解説的 に記載。	色相 ・複数の色相 ・有機物の見つけ方や特徴	流線構造 ・流線の見つけ方や特徴	断面等の財物 ・土壤の代わりに別のもの(砂利の 特殊な構造)を含む場合は、見つけた 特殊な構造	色相 ・複数の色相 ・有機物の見つけ方や特徴	断面区分 ・複数の種類 ・複数の特徴	断面区分の 見分けの特徴 ・見分けの特徴	断面部 ・位置 ・複数部内物質 ・有機物の見分け性、連続性 ・断面部が見分けられる部分を 見つけた場合は、見つけた位置 からなる組織の有無	断面部 ・位置 ・複数部内物質 ・有機物の見分け性、連続性 ・断面部が見分けられる部分を 見つけた場合は、見つけた位置 からなる組織の有無	内部構造 ・塊状、塊理、結晶化など	新鮮活動量 （変更した 場合）	空隙の状 況記載欄 （コア文 件）	記述を削除、変更、追記した理由		
上端深度	下端深度	コア観察カード	上端深度	下端深度	地質名	色相 ・採取の色相 ・光沢感	土質の特徴 ・粒度分析、他の特徴と目次	含有物 ・有機物 ・無機物 ・その他の周囲と異なる状況や特徴的な 状況があれば、必要に応じて、説明、高 度化など	特殊構造 ・塊状、塊理、結晶化など	断面名 ・地層の特徴及びその成因を解説的 に記載。	色相 ・複数の色相 ・有機物の見つけ方や特徴	流線構造 ・流線の見つけ方や特徴	断面等の財物 ・土壤の代わりに別のもの(砂利の 特殊な構造)を含む場合は、見つけた 特殊な構造	色相 ・複数の色相 ・有機物の見つけ方や特徴	断面区分 ・複数の種類 ・複数の特徴	断面区分の 見分けの特徴 ・見分けの特徴	断面部 ・位置 ・複数部内物質 ・有機物の見分け性、連続性 ・断面部が見分けられる部分を 見つけた場合は、見つけた位置 からなる組織の有無	断面部 ・位置 ・複数部内物質 ・有機物の見分け性、連続性 ・断面部が見分けられる部分を 見つけた場合は、見つけた位置 からなる組織の有無	内部構造 ・塊状、塊理、結晶化など	新鮮活動量 （変更した 場合）	空隙の状 況記載欄 （コア文 件）	記述を削除、変更、追記した理由		
189 58.03	58.29	コア観察カードから正しく記述されているか? <input checked="" type="checkbox"/>	58.03	58.29	正しいに記述するか?記述する。記入日と一部はごく近く記述される。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
200 58.29	58.53	直正化すべき記事内容	58.29	58.53	正しいに記述するか?記述する。記入日と一部はごく近く記述される。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
201 58.29	58.53	直正化すべき記事内容	58.29	58.53	正しいに記述するか?記述する。記入日と一部はごく近く記述される。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
202 58.40	58.46	-	-	-	一部はマンゴー色を含む緑色です。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
203 58.53	60.00	正しいに記述するか?記述する。記入日と一部はごく近く記述される。	58.53	60.00	正しいに記述するか?記述する。記入日と一部はごく近く記述される。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
204 59.90	60.00	直正化すべき記事内容	59.90	60.00	直正化すべき記事内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
205 59.46	59.46	45° 斜め上向きに~10mm深緑色化(結晶石 や粘土鉱はしまれない) 斜め下緑色化(結晶石 や粘土鉱はしまれない)	59.46	59.46	45° 斜め上向きに~10mm深緑色化(結晶石 や粘土鉱はしまれない) 斜め下緑色化(結晶石 や粘土鉱はしまれない)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
206 60.00	60.00	60mで探査	60.00	60.00	60mで探査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

H24-D1-2